

2023.7.1

第165号



○いたくら 議会だより



春の揚舟 谷田川新緑の水辺

今月の主な内容

- 新たな議員紹介・議会構成 P.2
- 3月定例会・議案審議 P.4
- 一般質問 P.10
- 議会懇談会・議会日誌 P.14
- みんなの声 P.16

板倉町議会ホームページへ

QRコードを読み込むと
議会ホームページが開けます



議会の録画配信をしています。議会ホームページ
またはYouTubeでご覧いただけます。

議会構成

5月10日(水)に開かれた令和5年第1回板倉町議会臨時会において、正副議長が決まり、その他、常任委員会等の議会構成は決められず延会となりました。

- 議長 荒井英世
- 副議長 亀井伝吉
- 議長 小林武雄
- 副議長 小野田富康
- 総務文教福祉常任委員会 委員長 森田義昭・副委員長 尾澤将樹・市川初江・荒井英世・藪之本佳奈子・小林武雄
- 産業建設生活常任委員会 委員長 亀井伝吉・副委員長 小野田富康・青木秀夫・延山宗一・青木文雄・須藤稔
- 予算決算常任委員会 全議員(委員長 森田義昭・副委員長 市川初江)
- 議会運営委員会 委員長 延山宗一・副委員長 市川初江・亀井伝吉・森田義昭・青木文雄・藪之本佳奈子
- 邑楽館林医療企業団議会議員 森田義昭・尾澤将樹
- 館林衛生施設組合議会議員 市川初江・青木文雄
- 館林地区消防組合議会議員 小野田富康・藪之本佳奈子
- 群馬東部水道企業団議会議員 小林武雄



町議会議員、町執行部が一堂に会し記念撮影（6月9日定例会最終日）

令和5年4月23日に行われた板倉町議会議員選挙において、当選した議員12人のプロフィールをご紹介します。

紹介内容は①議席番号、②年齢、③住所、④職業、⑤趣味、⑥抱負の順です。

議員の任期は令和5年5月1日から令和9年4月30日までの4年間です。

■6期 ■人に優しいまちづくり



いちかわはつえ
市川初江

議席 10番 年齢 77歳
住所 大字飯野 職業 主婦
趣味 読書、旅行、スポーツ
抱負 夢や希望の持てる町づくりを町民の立場で、公平公正、クリーンな町政を進め、教育医療介護、福祉の推進、子育て障がい者支援、弱者の立場に立ち、安心安全な町づくりを目指し努力精進して参ります。

■3期 ■安心安全なまちづくり



かめい でんきち
亀井伝吉

議席 7番 年齢 71歳
住所 大字海老瀬 職業 団体役員
趣味 スポーツ観戦
抱負 小さな声を受け止め、誰一人取り残さない、全世代が生き生きと生活出来る、暮らしやすい町。生命を守るための防災・減災対策の充実を、推進してまいります。

■1期 ■少子化と向き合う



あおき ふみお
青木文雄

議席 4番 年齢 75歳
住所 朝日野 職業 無職
趣味 映画鑑賞、落語、写真
抱負 人口減少、少子化を克服し人集まるまち 板倉を実現したい。対策として、若者が安心して子育てできるまち、子どものそばで働けるまち、まちを歩けば快適で楽しく住みやすいまちを目指します。

■1期 ■活気のある街づくり



すとう みおり
須藤 稔

議席 1番 年齢 76歳
住所 大字海老瀬 職業 会社員
趣味 音楽鑑賞、ゴルフ、読書
抱負 農業の担い手、耕作放棄地の対策、農地の有効利用。渡良瀬遊水地、谷田川等水資源の観光地化と活用による商工業の活性化。工業団地造成の取り組み。高齢化社会に向けた社会福祉の充実。文化的で楽しみのある街づくりを目指します。

■6期 ■今、できることから



あおき ひでお
青木秀夫

議席 11番 年齢 80歳
住所 朝日野 職業 無職
趣味 読書、スポーツ観戦
抱負 一握りの勝組と大多数の負組となっている自治体間の二極化は、深刻です。二極化の傾向は、不可避です。そういう現実を踏まえると、身近にある「実現可能な小さな問題」に取り組む「まちづくり」に努力したいと思います。急がねばと思います。

■4期 ■誰もが住みよい町に



あらい ひでお
荒井英世

議席 8番 年齢 72歳
住所 大字板倉 職業 無職
趣味 芸術鑑賞、読書、ゴルフ
抱負 人口の自然減や社会減を緩和するための少子化対策や移住・定住対策等が緊急の課題としてあります。子育て支援の強化と若者が定住化できる環境整備を進め、また議員のなり手不足がいわれている現状から議会活動の見える化を進めます。

■2期 ■板倉の特性を生かして



おの だとみやす
小野田富康

議席 5番 年齢 51歳
住所 大字初谷 職業 農業
趣味 乗馬、建築物観察
抱負 防災・防犯への備えを一層強化し、安全・安心な町を目指します。産業、特に農業の振興策を充実させ流入人口の増加、少子化対策に注力いたします。皆様の声を町政に届け、生かせる様活動して参ります。

■1期 ■活気あるまちづくり



やぶの もとかなこ
藪之本佳奈子

議席 2番 年齢 44歳
住所 大字岩田 職業 園芸店
趣味 登山、スキー、音楽、旅
抱負 失敗してもいいんです！！みんながやってみたいこと、あったらいいな、そんな小さな声をどんどん議会に取り入れて、笑顔と活気あるまちづくりに取り組みます。未来を担う子供達のために全力で取り組みます。

■3期 ■地域力向上で輝く町を



こばやし たけお
小林武雄

議席 12番 年齢 69歳
住所 大字下五箇 職業 無職
趣味 スポーツ観戦
抱負 ○健康づくり事業を推進し、元気な高齢者が暮らしやすい町と子育て支援サービスや保育環境の充実の環境づくりに取り組みます。○農業・産業・商業の活性化と雇用確保、さらに災害に強い町づくりの為、全力で取り組みます。

■5期 ■住み続けたい町づくり



のべやま そういち
延山宗一

議席 9番 年齢 74歳
住所 大字岩田 職業 農業
趣味 写真、旅行
抱負 災害から命を守る町づくりの構築、自分の町は自分で守る活動支援、もしもの時の備えとして備蓄品の確保、また減災への取り組み。安全安心な地域社会づくりとして犯罪の発生しにくい環境整備、みんなが住み続けたい町づくりを目指します。

■3期 ■誰もが住みよい町に



もり たよしあき
森田義昭

議席 6番 年齢 68歳
住所 大字岩田 職業 会社役員
趣味 読書、スポーツ
抱負 誰もが住みよいまち、と思える板倉町を目指し、皆様の声に耳を傾け、持ち前の行動力で町政へと提言し、一つ一つ具体化できるよう誠意をもって取り組み皆様に応えていきたいと思ひます。

■1期 ■私は身体障がい者です



おずま さしげあき
尾澤将樹

議席 3番 年齢 56歳
住所 大字板倉 職業 会社員
趣味 YouTube鑑賞
抱負 障がい者だからできる町づくりを目指して、いつでも専門的な診療所に掛かる事ができる医療の質の向上を目指します。この地域には、専門的な医療を診療する診療所がほとんどありません。いち早く専門外来が出来る様最大限努力いたします。

令和5年第1回定例会が、3月7日(火)から17日(金)までの11日間の日程で開かれました。今回の定例会では、諮問2件、承認1件、条例の一部改正議案6件、規約変更に関する議案2件、計画議案1件、町道路線に関する議案2件、令和4年度補正予算議案2件、令和5年度当初予算議案5件の合計21議案が審議されました。



人事案件、専決処分事項の承認議案など全21議案を審議

令和4年度補正予算を原案可決
令和5年度予算を原案可決
一般質問に4人の議員が登壇

人事案件

◆人権擁護委員候補者の推選について
令和5年6月30日付けで任期満了となる根岸一仁さんの後任として、石川和孝さん(大字板倉)を適任者として、同日付けで任期満了となる高瀬久美子さん(大字粉谷)を引き続き適任者として推薦することに賛成しました。

承認議案

◆専決処分事項の承認について(令和4年度板倉町一般会計補正予算(第9号))
歳入歳出予算に歳入歳出それぞれ484万8千円を追加し、歳入歳出予算の総

問 針ヶ谷議員

額を、70億999万円とするものです。

出産・子育て応援給付金の350万円の追加について、この給付額と、この給付は今年度既に出産が済んでいる方だけの分なのか、年度内にこれから出産を控えている方の分も含んでいるのか伺いたい。

答 健康介護課長

応援給付金は、妊娠中に5万円、出産後に子ども1人につき5万円です。当初の試算ですが、既に出産されている方が26人、現時点で妊娠をされている方が19人で、対象者には通知を発送しておりまして、年度内

の支給を目指します。

○群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について

◆その他の議決議案

○板倉町行政財産使用料条例の一部を改正する条例について

○板倉町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例について

○板倉町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

○板倉町家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

○板倉町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

○板倉町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例について

○群馬県市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議について

補正予算審査

議案第12号 令和4年度板倉町一般会計補正予算(第10号)
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億4,584万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を67億6,414万8千円とするものです。

問 黒野委員

板倉中学校体育館エアコン整備事業の591万円の減額理由を伺いたい。

答 教育委員会局長

当初予算ではバズーカ型スポーツエアコンの設置を予定していましたが、設計の段階で、バズーカ型スポーツエアコンと天つり型通常の天井からつるすタイプのエアコンの性能や金額の比較を行いました結果、天つり型が経済性が高いということで、採用したことにより当初予算との差額が大きく生じたということです。

問 針ヶ谷委員

八間樋橋解体撤去事業の600万円の減額について、今年度事業分の減額なのか、総事業費の減額なのか伺いたい。

答 都市建設課長

本事業は3か年事業で、1億5千万円相当で計画しています。1年目の事業費として、令和4年度に

問 市川委員

6千万円の予算計上をさせていたいただいたうちの見込額で、600万円の減額をしたものです。

答 福祉課長

障害介護給付事業の3千万円の減額について、これは自立支援を利用する方が大きく減少したということなのか。

令和4年度の当初予算では、過去3年間の伸び率の推移を取りまして、令和3年度の実績にその伸び率を掛けて計上しましたが、利用者の死亡及び入院によって使わなくなったり、またはサービス利用をしなくなった方がいたため、減額となりました。

問 延山委員

感染症対策費の商工会商品券購入代383万7千円の追加と燃料購入費補助金393万5千円の減額について、その理由を伺いたい。

答 産業振興課長

商品券交付事業は、1人

問 荒井委員

都市防災総合推進事業費補助金の1,580万円の減額と地域防災拠点建築物整備緊急促進事業補助金の450万円の減額について、その理由を伺いたい。

答 総務課長

都市防災総合推進事業費補助金は、緊急避難場所整備工事費、西岡地区及び海老瀬地区の工事費、用地費、物件費に係る補助金です。また、地域防災拠点建築物

問 小野田委員

整備緊急促進事業補助金は、今後、緊急避難場所に設置をする照明、防災倉庫の購入に充てる補助金となりまして、共に事業費確定に伴う減額です。

答 住民環境課長

個人番号カード交付事務会計年度任用職員経費の時間外勤務報酬で、40万円の追加となっているが、実際に町内で申請された方、取得された方は何パーセントになるのか。

問 青木委員

2月19日現在で、交付枚数が7,644枚、交付率は54.4%です。申請は9,824件で、申請率が70%ですので、残りの約15%の方については、今後交付される見込みです。

答 福祉課長

令和4年度住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の対象件数を伺いたい。

答 企画財政課長

1人当たり最高で15万円、対象人数を60件とし、900万円を見込みましたが、実績は、30件、334万3千円ということですので、額が確定したための減額です。

◆なお、補正予算については、3月8日の本会議において、全会一致で原案どおり可決となりました。

令和5年度予算を全会一致で可決

一般会計総額 58億3,000万円

特別会計総額 37億5,536万円

令和5年度一般会計及び各特別会計予算については、予算決算常任委員会において、4日間をかけて慎重に審査を行い、3月17日の議会最終日、全会一致で可決となりました。予算決算常任委員会における主な質疑内容についてお伝えします。



令和5年度予算

会計区分	本年度	前年度	
一般会計	58億3,000万円	55億7,600万円	
特別会計	後期高齢者医療	2億451万円	1億7,296万円
	国民健康保険	20億1,586万円	19億8,608万円
	介護保険	13億1,952万円	13億4,282万円
	下水道事業	2億1,547万円	2億399万円
合計	95億8,536万円	92億8,185万円	

一般会計58億3,000万円

支出の主な内容

- 総務費 8億1,480万円
 - ①町有施設管理事業（旧北小学校プール撤去事業）
 - ②県知事選挙
- 民生費 18億1,235万円
 - ①子ども・子育て会議運営事業
 - ②福祉医療費支給事業
- 衛生費 5億9,608万円
 - ①狂犬病予防及び動物愛護事業（猫の断種・不妊手術補助）
 - ②出産・子育て応援事業
 - ③がん治療者医療用補正具購入費助成事業
 - ④小児若年がん治療者在宅療養支援事業
- 農林水産業費 3億4,591万円
 - 小保呂排水機場維持管理
- 事業（排水ポンプ更新工事） 9,638万円
 - ①産業施設及び商業施設誘致促進奨励事業
 - ②観光振興事業（観光行事の実施）
- 土木費 6億2,558万円
 - ①町単独道路整備事業
 - ②八間樋橋解体撤去事業
- 消防費 3億1,138万円
 - 災害時避難場所確保事業
- 教育費 6億9,829万円
 - ①小学校体育館改修事業
 - ②社会体育施設管理事業（海洋センター改修）
 - ③文化財保存活用事業（離山貝塚）
 - ④いじめ問題対策事業

【予算審査】

予算決算常任委員会を4日間開催して、令和5年度予算を集中的に審査しました。

総務課

問 荒井委員

町営駐車場運営事業が前年比増額となっている。駐車場工事請負費の内容は何か。

答 行政庶務係長

駅前駐車場の修繕に係る工事費として、区画線の引き直し、駐車場の電灯のLED化を計画している。

問 延山委員

設置されている防犯カメラは、映像が鮮明に記録されているのか。

答 安全安心係長

令和2年度以降に設置したものについては、高性能で高額な機種になっている。今後は、新たな場所に設置するよりも、古い機種を更新していく考えである。

問 小野田委員

今の普通免許だと消防ポンプ車が運転できない。免許を持っていない方が多くなってくる。免許取得の補助はあるか。

答 安全安心係長

補助金も合わせて組合のほうに負担をしている。補助制度も用意をしている。

問 小林委員

デジタル基盤改革支援補助金について、共通のシステムになると思うが期間はどのくらいか。

答 情報広報係長

国は、20の手続をまずは共通化していくとして、令和7年度を目標としている。

都市建設課

問 針ヶ谷委員

谷田川の土手の除草について、のり面は県で、天端は町でとなっており、のり面は年に2回の計画になっている。のり面の草が繁茂して稲の成長に影響を及ぼす事態が発生している。館林土木事務所との話し合いが進んでいるのか。

答 計画管理係長

館林土木事務所に年に2回では、堤防の一番下のところの田んぼの方は、稲刈りするときに随分支障があるということ、土木の担当にも要望はしている。

問 市川委員

移住者住宅取得支援事業について、どのくらいの件数の人がご利用なされたのか。

答 計画管理係長

令和4年度は当初20件の予算だったが、補正で25件の予算を確保し、25件申請があった。令和3年度についても20件で、毎年満額になっている。

問 荒井委員

主要道路延伸調査事業は、具体的にどこを延伸するのか。

答 都市建設課長

1-12号線が県道にぶつかりまして、その先を延伸する。線形案があるが、それに対して今後多少修正を加えることになる。

会計課

問 小野田委員

データ伝送基本手数料は、切替えによってかかってくるものなのか、今後、毎年同じ額がかかってくるものなのか。

答 会計係長

初期投資は特に無償となっているが、毎月の月額手数料がかかるということである。

企画財政課

問 針ヶ谷委員

イルミネーションについては、まちづくり推進事業

の中の業務委託料として150万円とあるが、物品購入等の予算計上が見当たらない。新規の購入はないのか。

答 企画調整係長

委託料150万円のうち、取付け撤去の60万円、そのほかはLEDライトに充てられることも可能かと思っている。



問 青木委員

ふるさと納税について、多いところは、何が原因であんなにふるさと納税が来ているのか。仲介手数料というのはどのくらいかかるのか。

答 財政係長

近年ふるさと納税については、商品販売価格の値下げ合戦に近いような状況にもなっており、安い額で手に入れるかということも、皆さんの関心事となっております。仲介手数料として大体10%ぐらい、その他合わせると、事務手数料としては13から14%ぐらいとなっております。

住民環境課

問 針ヶ谷委員

下水道使用料について、東洋大学が令和5年度末で生徒の往来がなくなるといふことは、アパートの住居が見込めない状況になるかと思うが、その辺の見込みとどうなのか。

答 環境下水道係長

大学がなくなるということで、2割ぐらいは減少されるのではないかと見込んでいる。

問 延山委員

クビアカツヤカミキリ対

策について、被害を受けた木を伐採すればいいと思うだけのものではないと思うが、それについてどう考えているか。

答 環境下水道係長

基本的には防いでいく、防ぐためには効果がある薬剤の樹幹注入を進めていきたいと考えている。老木、あるいは枯れている木に対しては、倒れるような危険性もあるので、伐採をしていくという考えである。



サクラへの薬剤樹幹注入作業

産業振興課

問 針ヶ谷委員

小保呂排水機場のポンプ更新について、時期的にどういう日程で工事が設計さ

税務課

問 今村委員

町税収入について、決算額をどのように次の年度の予算に反映したのか。

答 税務課長

令和4年度の調定額を参考に、不確定要因、収納率を考慮し、令和5年度の予算を算出している。

問 針ヶ谷委員

東洋大学が移転をしたとき、固定資産税はどういう扱いになるのか。

答 資産税係長

令和3年度から大学の未利用地分を課税している。令和6年の1月1日現在ではまだ学校の要に供している。令和7年度から、未利用地以外の学校用地、いわゆる宅地になる部分、それと建物、それと償却資産が申告されれば償却資産分、それらを合わせて課税

れているのか。

答 農村整備係長

排水ポンプの更新の工事を行うが、ポンプをオーバーホール、全部分解をして、中身の消耗している部品を交換するという工事になる。11月から次の年の2月ぐらいまでの工期を予定はしている。

福祉課

問 荒井委員

民生委員の見守りについて、訪問する家の個人情報がある程度分からないと対処できないと思うが、個人情報提供しているのか。

答 福祉課長

個人情報保護を民生委員に提供はしていないというのが実情です。訪問先でアンケートを行い、本人の了承を得た中で情報を共有しているような状況である。民生委員が解決するというのではなく、関係機関については、つないだ先の専門機関が対応をしていくことになる。

することになる。



2024年に撤退を発表した東洋大学

健康介護課

問 今村委員

2024年問題について、医療全体とすると国保と後期高齢者特別会計があるが、板倉町については被保険者は増えないという傾向なので、急激に何か特別に対応しなくてはならないというのは考えなくてもいいという状況なのか。

答 保険医療係長

後期高齢者会計と国保会計の関係については、国保会計から移っていくというところで、総体的には変わらないイメージはあるが、自営業の方も減ってきている状況があるので、どちら

問 市川委員

保育園には防犯カメラが設置してあるが、何か所設置してあるのか。また、どのように確認しているのか。

答 板倉保育園長

板倉保育園、北保育園とも3台ずつ設置してある。駐車場の入口と園児の送り迎えをする入口2か所に、常時誰が入ってきたか分かるように設置してある。モニターが事務室にあり、常時確認している。

問 亀井委員

ゼロから2歳児の関係なのですが、45%の人が保育園等に入所していないということだが、入所できないのか。

答 子育て支援係長

ゼロから2歳児に関しては、保護者の方の意思で入所申込みをされていないということである。

問 青木委員

保育園の入所の要件に

かというと総体的には移るといよりは国保の被保険者数はそれ以上に減っていく傾向にあるような感覚を持っている。

問 市川委員

出産子育ての応援事業について、赤ちゃんが生まれると何回か訪問してくださって、ご相談に乗ってくださっているだと思つのが、コロナ中の3年間は、どのような工夫をなされて訪問していたか。

答 健康推進係長

相手の方の了解を得てから訪問した。事前に伝えられること、例えば予防接種や健診等について、電話等でお話ししておいて、直接伺ったときはできるだけ短く済むような工夫をした。

総括質疑

問 針ヶ谷委員

重点施策については、トップダウンで町長から提案されて確定するのか、あるいは各課からの提案を基に町長が判断するのか、事

就労時間が月64時間以上というのがある。町の保育園はそのルールを厳格に守らなくてはいけないが、私立の保育園ならその辺のところは弾力的に運用しているのか。

答 福祉課長

ゼロから2歳児の保育に関しましては、民間に入ろうが町立に入ろうが、町の認定を受けないと利用できないので、その認定基準が国が定めた64時間以上となっており、保育認定が受けられない方に関しては、この保育園も受け入れられないということになっている。

教育委員会

問 市川委員

いじめ問題対策について、登校できない小中学生はいらぬのか。道徳等の時間で子供たちがいじめについて話し合っているのか。

答 指導主事

現在いじめ問題等で登校できない児童生徒は、ゼロ

業決定の流れはどのようになっているか。

答 企画財政課長

当初予算編成方針に基づいて、各課担当者がまず提案を各課内です。その次の段階で、財政担当のヒアリングを行う。この時点で、予算編成方針で示された「町長の基本政策として新年度予算計上について重点的に検討する事項」が確実に提案されているか否かについて、財政担当で確認をしている。最終的には、町長ヒアリングを経て、重点的に検討する事項について決定する。また、各担当が経験した中で町民の意見を吸い上げて、こういう事業を行ったらどうかというようなものについては、積極的に財政のほうも相談に乗っているという状況であり、町長から指示があったものだけではありません。



一般質問

議会 2 日目 3 月 8 日(水)



森田 義昭 議員

民生委員・児童委員の活動とは

問：私たちに身近な民生委員さん、児童委員さんの具体的な活動を伺いたい。

答：福祉課長 一、住民の生活状態を必要に応じて適切に把握しておくこと。二、生活に関する相談に応じ、助言そのほかの援助を行うこと。三、福祉サービスを適切に利用するための必要な情報の提供。四、社会福祉事業者と密接に連携し、その事業または生活を支援すること。五、福祉事業所、そのほかの関係行政機関の業務に協力す

民生委員・児童委員について
人権擁護委員について



民生委員児童委員協議会定例会の様子

ること。六、住民の福祉の増進を図るための行動を行うこと。また、児童委員及び主任児童委員の職務については、一、児童及び妊産婦について、その生活状況、取り巻く環境の状況を適切に把握しておくこと。二、児童及び妊産婦について、その保護、保健、その他の福祉に

その事業または活動を支援すること。四、児童福祉司または福祉事務所

て、町からの依頼事項等により、各家庭を訪問し、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐために必要な情報の把握に役立っており、一層地域住民の身近な相談相手となるものと考えている。そのほかの活動として、自立支援部会、地域福祉部会等がある。そのほかにも、児童委員は学校評議員として、学校での子供の様子について情報を得るほか、

人権擁護委員の活動とは

問：法務大臣所轄の人権擁護委員さんは、どのような仕事をされているのか。

答：住民環境課長 人権相談、調査救済、人権啓発活動である。

意見：民生委員さん、人権擁護委員さん、いづれにしても大変な仕事を担っています。当町としましても、なりやすい仕組みをこれからもお願いいたします。

一般質問

議会 2 日目 3 月 8 日(水)



荒井 英世 議員

コミュニティスクールの
早期実現
谷田川沿いに「川の駅」
設置を！

開かれた学校づくり(コミュニティスクール)の設置について

問：現在町では学校評議員制度を採り入れているが、コミュニティスクールとの違いは。

答：教育長 学校評議員制度は校長の求めに応じて保護者や地域住民が学校外の意見を聞くための仕組みで、あくまでも意見を参考にしながら校長の学校経営に生かすというものである。コミュニティスクールは学校評議員制度を一歩進めた制度で、保護者や地域の方々が大きな権限と責任を持って学校経営に関わると

問：コミュニティスクールの設置数は。

答：教育委員会事務局長 令和3年5月1日時点で全国1万1,856校、率で33.3%、群馬県は61校、9.9%、近隣では令和4年度で邑楽郡はゼロ、館林市で16校である。

問：平成30年6月に閣議決定された第3期の教育振興基本計画の中で全ての公立学校がコミュニティスクールを目指すことが示されたが設置についてどう考えているか。

答：教育長 既に学校評議員制度があり、学校支援センターを中心に地

域活動が円滑に行われていると思っ

ニュータウン内の「ふれあい公園」について

問：ニュータウン内のふれあい公園は都市と自然の融合した憩いの場として造られ、賑わいと出会いに満ちた水辺空間をテーマとしているが、公園の利用状況は。



ふれあい公園の水上ステージ

ふれあい公園内の水上ステージの利用について

問：水上ステージについては現在ほとんど利用していないが、今後活用する考えはないか。

答：産業振興課長 コンサートやイベントをやるとなると適当な駐車

観光振興事業と賑わいの創出について

問：令和5年度の重点施策の中で水辺の観光振興と賑わいの創出がある。具体的には観光バスを呼び込むということであるが、立ち寄り場所がないと思う。提案だが谷田川沿いに「川の駅」を設置する中期的な考えはないか。

答：町長 ご指摘をいい機会と捉えてステージの状況等欠点を克服した上で、利用団体のあるなしを含めて総合的に考える良いきっかけとしたい。

答：産業振興課長 来年度予算で観光のバスツアーを企画している。工程表が大体できているので、谷田川沿いの川の駅については6年・7年と検討できればと考えている。

一般質問

議会 2日目 3月8日(水)



亀井 伝吉 議員

高齢者や移動弱者への支援を

選挙の期日前投票宣誓書について

問：過去4年間に執行された選挙の期日前投票の割合は。

答：総務課長 平成31年4月地方統一選挙は21%、令和元年7月参議院選挙は28%、3年10月衆議院選挙は28%、4年7月参議院選挙は30%と増加している。

問：入場券の裏側に宣誓書を刷るはがき形態の導入を。

答：総務課長 一枚のはがきに一世帯6名分の入場券が印刷できる様式にして、郵送経費の削減を行っている。宣誓書については、町ホ-

ムページからダウンロードや、期日前投票所で記入提出していた。

問：町長 今現在、国において行政事務の電子化に向けたシステムの標準化を進めている。裏側へ宣誓書をつけることも可能か現在検討している。



移動弱者への取組について

問：高齢化率の現状は。

答：健康介護課長 人口1万3,841人に対し高齢者65歳以上は、4,938人で高齢化率は35%です。高齢化の問題は、少子化、生産年齢人口減少による町の総人口に大きく影響される。高齢者人口が減っても若い世代の人口も減っているので、高齢者の生活を支援する施策が重要となっている。

問：高齢者の単独世帯、高齢者だけの世帯数は。

答：健康介護課長 65歳以上の高齢者世帯数は、

1,307戸、うち単独世帯は539戸です。

問：高齢者の運転免許証の保有率と返納状況は。

答：総務課長 町内65歳以上の免許保有率は男性91%、女性66%、全体で77%。群馬県は69%、全国で53%となっている。免許返納は、令和2年52人、3年62人、4年55人となっている。

デマンド型（予約型）バス、タクシーの検討を

問：デマンド式、予約式のワンボックスカー・タクシー運行の試みはできないか。

答：総務課長 デマンド型

乗合タクシーは、運行方式や乗降場所、発着地の自由度が存在し、きめ細やかなサービスが可能となる。高齢化や人口減少が進む公共交通空白地帯では、有効な移動手段である。一方事前の利用者登録や予約の煩わしさ、乗り合いへの抵抗感、予約が重なった場合に到着時間が大きく変更となる。利用者一人当たりの高い輸送コスト・公共路線バスや一般交通事業者との競合の懸念など、課題も多い。こういった状況を判断しながら検討していきたい。

一般質問

議会 2日目 3月8日(水)



小野田 富康 議員

内水氾濫への備えと対策は 教育行政、学校と教育委員会との 連携 道徳授業・NIEの導入について

内水氾濫への備えは

問：内水氾濫についての町の認識、対策は。

答：総務課長 本町においては、国や県により幾つもの排水機場が整備され、ポンプによる強制排水機能が十分な能力を有している。そのため特段の憂慮はしていない。内水と外水、いずれの氾濫にあっても安全で確実な避難を図るための洪水時住民避難計画の検討を進めている。

問：新聞報道にあった作成を義務化されている浸水想定区域図の作成状況は。

答：総務課長 町のハザ-

ドマップ、防災マップで代替できるものと考えている。

問：作成が義務付けられているのは郡内では板倉町と邑楽町だけだが、邑楽町の状況は。

答：総務課長 邑楽町の状況は調査していないのでわからない。

問：町長 貴重な指摘です。町長 貴重な指摘です。町長 貴重な指摘です。町長 貴重な指摘です。

町立小中学校と教育委員会との連携について

問：各学校と教育委員会の問題発生時の情報、危機意識の共有について、どのような事件・事故があった場合に学校から

教育委員会に情報が上げられるのか。マニュアルがあるのか。

答：教育委員会事務局長 県教育委員会が定めた要領に基づいて行われている。また町立小学校及び中学校管理運営規則があり、県教育委員会とより緊密に情報共有を図るために詳細な規定等の整備等を検討していきたいと考えている。

問：町長 事故等発生した場合のマニュアルは現実とのギャップがある。教育長に検討するよう指示したい。

道徳の教科化について

問：令和2年度から道徳が教科化されたとのことだが、今までと何が変わったのか。

答：教育長 深刻化したいじめ問題に根本から対応するため教科化になった。変わった点は、①教師の道徳に対する意識が変わった。②国の検定を受けた教科書ができた。③新たな評価制度が導入された。

NIE（新聞を教材として活用する活動）の導入について

問：昨年の9月から西小学校がNIE実践指定校となった。どの様に取組んでいるのか。

答：教育長 様々な取組を



NIEの授業の様子（西小学校）

行っているが、スタートからまだ数カ月であり、学校もどんなNIE教育が推進できるのか色々な事例を参考にしながら深めていくという様な段階になっている。

議 会 日 誌

3月

- 7日 定例会（初日）／予算決算常任委員会（補正予算審査）・各常任委員会（所管事務調査）
- 8日 一般質問（4人）／本会議（補正予算議案採決）
- 9～15日 予算決算常任委員会（令和5年度予算審査）
- 17日 定例会（最終日）／全員協議会／議員のみ協議会／議会広報特別委員会
- 20日 邑楽館林医療企業団議会議員懇談会
- 23日 邑楽郡町村議会議長会定期総会
- 24日 邑楽館林医療企業団例月出納検査

4月

- 26日 第6回避難計画検討委員会
- 27日 邑楽館林医療企業団例月出納検査

5月

- 2日 議員懇談会
- 10日 第1回臨時会（延会）
- 19日 全員協議会／議員のみ協議会
- 22日 第1回臨時会（再開）
- 23日 全国町村議会議長研修会
- 29日 群馬県町村議会議長会臨時総会・議長研修会

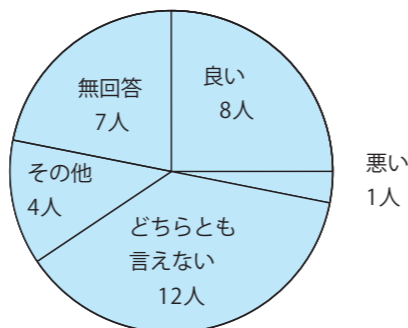
6月

- 1日 板倉まつり運営委員会
- 2日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 6日 定例会（初日）／予算決算常任委員会（補正予算審査）・各常任委員会（所管事務調査）
- 7日 一般質問（6人）／本会議（補正予算議案採決）
- 9日 定例会（最終日）／全員協議会／議会運営委員会／議員のみ協議会／議会広報特別委員会
- 11日 町民スポーツフェスティバル
- 20日 議会広報特別委員会
- 22日 邑楽館林医療企業団議会議員病院説明会
- 23日 避難訓練実施機関説明会
- 25日 板倉消防団ポンプ操法競技大会
- 29日 邑楽館林医療企業団議会6月臨時会
- 30日 新議員研修会



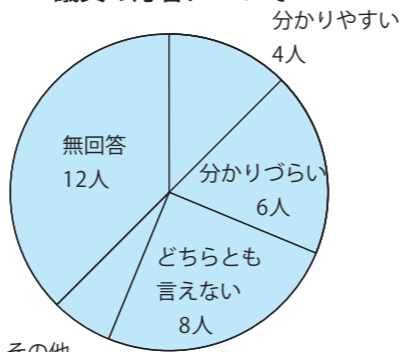
アンケート結果（一部抜粋）

今回のテーマについて



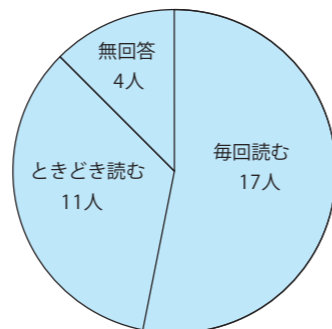
その他と答えた人からは、今後の要望として、人口対策、東洋大学の問題、また、「がっかりした」との意見がありました。

議員の応答について



その他と答えた人からは、「言葉が難しい」、「議員の声をもっと聞きたい」、「会のあり方がなっていない」との意見がありました。

議会だよりを読むことがありますか



令和4年度 議会懇談会を開催しました

令和4年2月25日(土)午後2時から、役場地域防災室において、令和4年度議会懇談会を開催しました。3年ぶりとなった議会懇談会では、3つのテーマに沿って町民の皆さま（参加者：32人）と意見交換を行いました。

テーマ：●防災について ●旧南・北小学校の利活用について ●観光振興について

◆懇談会の主な内容

●防災について

《参加者》

議会では、災害についての研修を行っているのか。

《議員》

災害については、議員の中で協議をすることはありますし、昨年は利根川上流河川事務所へ行きまして、水防関係の意見交換と利根川堤防工事の視察をして来ました。

《参加者》

台風19号で感じたが、避難所の中で現在の台風の状況や、今、家に帰った場合の危険の度合いなどが、きめ細かに伝達される仕組みはできないのか。

《議員》

これは大きな反省点ですが、旧南小学校の避難所では何かの手違いで、夜中に利根川が越水しようとしている時に、避難者を別の避難所に移動させるようなことがありました。町も議会も情報伝達を徹底し、町民にしっかり伝え、そのようなことがないように十分注意していきたいと思います。

《参加者》

避難困難者を避難所に送り届けた人が、家に戻った時に、二次災害にあうかもしれない。想定外の水害が起ころうな時は、前日くらいに町有バスで避難困難者をまとめて避難させることはできないか。

《議員》

町では、おおよそ先の状況が分かりますから、そこを踏まえて、議会全体で協議したいと思います。

●旧南・北小学校の利活用について

《参加者》

令和元年度に小学校の利活用などについて、町民アンケートを実施したと思うが、それについて皆さんは議論していないのか。

《議員》

昨年7月の全員協議会で、町の考え方ですが、旧南小は、1階と2階部分を民間団体等からの利用の申出を受け付ける形です。北小は、全体を避難施設として、風水害等の緊急避難時の障害とならないことを前提として、行政区や各種団体の短期的な利用を促進したい

ということで、協議した経緯はあります。

《参加者》

アンケートに細かい内容まで書いたが、それを議員で議論した内容の話ではなく、またざっくりとした話に戻すのか。その間、何をしていたのか。

《議員》

避難場所として活用することは決まっていますが、それ以外にどういった利活用ができるのかについては進行中ですので、先日、長野県に視察も行って来ましたし、議会として再度利活用できる部分がないかということで、本日ご意見を伺いたいということです。

《参加者》

今、日本で廃校がどのくらいあるのか、そのうち活用されたのはどのくらいあるのか、群馬県はどうなのか、各議員は理解しているのか。

《議員》

大なり小なり理解していると思いますが、議員個人が勉強すべき問題だとご指摘されるのは当然ですので、皆さんに提案する時は、各議員の考えをまとめた上で議論に入りたいと思います。

●観光振興について

《参加者》

文化的景観の潜り橋（沈下橋）は、現在通行止めで、夏になると草がひどい。建て替えが予算的に難しいのであれば、せめて町で除草していただけないか。

《議員》

除草も必要ですが、建て替えますと1億円近くかかるそうです。重要文化的景観の構成要素ですから、その辺は粘り強く教育委員会に話しかけていくしかないと思います。

《参加者》

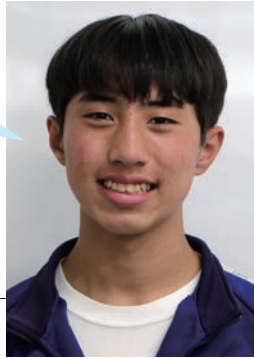
三県境は昨年文化の日辺りで、500人以上の人が来ている。そのほとんどが県外からの人だが、これを町の観光にどう結びつけるかが、重要と考えるが。

《議員》

三県境から板倉町内、例えば雷電神社、高鳥天満宮、花の季節には、頼母子のしだれ桜、離山のヒガンバナなどに誘導できる工夫が必要と考えますので、そういった提案をしていきたいと思っています。

板倉にしてほしい 守ってほしい事

高齢者との関わりと
伝統ある建物を大切に



しょうた
川島 聖大さん
(板倉中学校2年)

私が板倉町にお願いしたいことは、「高齢者と子どもたちの関わり場を設けてほしい」ということです。なぜなら、年の離れた人どうしが交流することで、お互いの考えを共有できる素晴らしい時間を過ごすことができると思ったからです。高齢者の方々にとっては子どもたちとの楽しい時間となり、子どもたちにとっては高齢者を大切にすることを学べるとともに、悩みや不安を相談できる相手として関わっていくことができるので、両者にとって得であると考えました。

また、私は雷電神社が大好きです。何年も続いてきた伝統ある建物で、多くの方が観光をしに来たり、お参りをしに来たりしています。私も、正月には必ず雷電神社で初詣をします。そんな雷電神社をこれからも守ってほしいです。

歴史のバトンを 渡すために

地域の役員を町全体で
再考すべき時期



小柵 弘靖さん
(大字大高嶋)

みんなの 声

私も齢50を過ぎ、いつからか耕地や行政区の役員を担当するようになり、慣れないながらもわからない事は、諸先輩方の忠告に耳を傾け、その都度考えながらその日々を送って来ましたが、この数年感じる事があります。それはこの歴史のバトンを渡す事が困難になりつつあるという事です。過去を辿れば、役職によっては地域の名誉職だという事で、1人の方が何十年もその役職を担当していた事もあったようですが、時代は日々刻々と変化していきます。回り持ちの順番が明確になっている地区でも、人口の多い地区でも、現状が変わらなければいつか直面する問題です。本当にこの役員が必要なのかどうかを精査する事は、1耕地、1行政区で判断出来る事ではありません。歴史のバトンを次世代にしっかり渡す事が出来るよう、町全体で再考すべき時期に来ていると思います。

編集後記

2020年2月に国内で初めて発症が確認された新型コロナウイルス感染症。あれから約3年が経過した。マスク着用の日々が続き、コロナ禍の中で、様々な行事も自粛されてきた。

5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染法の位置づけが、2類から5類に移行したこと、季節性インフルエンザと同等の扱いになった。

マスク着用から徐々に解放され、気分もホットする。コロナ前の社会・経済活動の復活が待ち望まれます。

私たちの生活も我慢の日々が続きましたが、希望ある未来が広がっていることを信じて、前を向いて元気に歩み出しましょう。

(前議会広報特別委員長 小林武雄記)

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます 議会傍聴

議会の本会議は公開制となっています。会議当日、受付票に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。

◆9月議会定例会(予定)

会期 9月6日(水)～9月15日(金)

議事 (1)条例改正などの議案審議・採決

(2)一般質問

(3)決算認定議案審議・採決

※会期等が変更となる場合もあります。

※詳しい日程等については、議会のホームページでお知らせします。

お問い合わせ先

議会事務局 TEL.82-1111 (内線701)

TEL.82-6154 (直通)